

### 傷害の防止

ひとくちに「傷害」というが、その原因はさまざまであり、それは予告がないという点で共通している。道で転ぶこともあれば、自転車で横転することもあり、予期せぬ交通事故に遭遇するかもしれない。また地震や土砂崩れなどの自然災害も、傷害の原因である。

寺田寅彦が「天災は忘れたころにやってくる」と言ったが、ふだんの備えがあれば、傷害を防止できるのではないかというのが、この学習のテーマである。

傷害を防止するには、その原因を分析することが大切である。事故が起こる前の平時にこそ、原因の究明を徹底的に行うべきである。

- 1) 傷害発生には人的要因と環境要因があるが、人的要因で気をつけないといけないと考えたことが何かありますか？

- 2) もう少しで交通事故になりそうなヒヤリとした体験（あるいは事故経験）を分析して、事故防止についての対策を考えよう。

- 3) 自然災害に対処するために平素からどのような備えをしているか？  
あるいは今後すべきだと考えているか。

夏、あれだけ話題になる水難事故。なぜかくり返し毎年発生する。人間は事故から学ぶ能力がないのだろうか？原因は「自分は大丈夫」という自然をみくびる発想だ。人間の力なんて、自然の前ではちっぽけなものであることを、再認識する必要がある。